

# さくらららら

# 咲

今年も桜の季節がやってきました。古典桜の里しらかたでは、様々な催し・出会い・交流がありました。

## 日本さくら会 さくら功労者表彰受賞

4月15日、東京都において、公益法人日本さくらの会が主催する、第50回さくら祭り中央大会の席上、しらかた古典桜の里推進協議会（会長 金子孝吉薬師桜保存会会長）が、平成27年度「さくら功労者」表彰を受賞されました。



町内に点在する11本の桜の保存会や所有者等で組織され、桜の管理・保存、桜周辺の整備や、桜の下でのおもてなしなどを行っています。



山形工科大学短期大学校設計計画第一講座（吉田博之教授）の皆さん。桜のある風景にマッチし、中のパンフレットが見やすく取りやすいデザインにしたというパンフレットスタンドは、各桜のそばに設置されています。

## さくらコンサート

4月19日、釜の越・薬師さくらまつり会場となった釜の越農村公園では、桜のシーズンの幕開けを告げる「さくらさくらステージ」が催されました。地元で活動する「よさこい白鷹櫻鷹会」「風わたり会」「大正琴 くわの実会 蚕桑



教室」の3団体が発表を行い、地元の農産加工品や銘菓の販売も行われ、訪れた観光客の皆さんにお楽しみいただきました。

## 義理人情劇にて候 満開の下 高玉芝居上演

4月25日、毎年恒例になっているさくらまつり高玉芝居公演は、釜ノ越ザクラ満開の下行われ、晴天の中約300名が楽しみました。樹齢800年の釜ノ越ザクラと200年の伝統がある高玉芝居。悠久の時を越え、うららかな春の日、大勢の観衆を魅了しました。



## 祝20周年 古典桜さくら回廊 そぞろ歩き

4月26日、JR東日本主催「古典桜さくら回廊そぞろ歩き」が開催され、晴天の中、全国から約50名の方々が一歩一歩のコースを歩きました。

このイベントは、今年で第20回を数え、前身は、蚕桑地区公民館が主催した「古典桜さくら回廊そぞろ歩き」です。当時の地区公民館（今野國善館長）が、自分たちの自慢の桜を多くの方にゆつくり見たいと企画したもの。今では、全国からお客様が集まる人気のコースになりました。

